問題別調査結果　［国語］

全国ー生徒（国・公・私立）

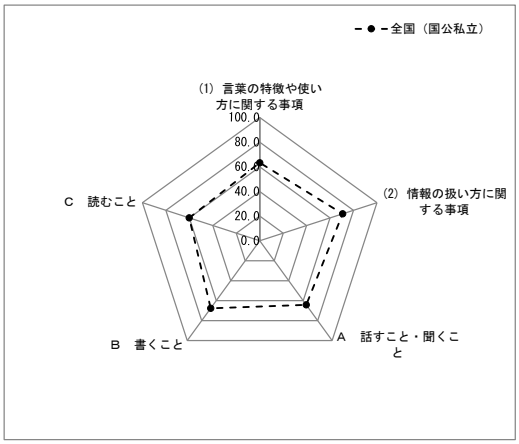
・以下の集計値／グラフは、４月２３日に実施した調査の結果を集計した値である。

集計結果

対象学校数	全国（国公私立）	対象生徒数	全国（国公私立）
	9,375		864,717

分類		区分	対象問題数（問）	平均正答率(%) 全国（国公私立）
全体			15	64.2
学習指導要領の内容	知識及び技能	(1) 言葉の特徴や使い方に関する事項	5	63.3
		(2) 情報の扱い方に関する事項	1	70.7
		(3) 我が国の言語文化に関する事項	0	
	思考力、判断力、表現力等	A　話すこと・聞くこと	3	64.2
		B　書くこと	3	67.7
		C　読むこと	3	60.1
評価の観点		知識・技能	6	64.5
		思考・判断・表現	9	64.0
		主体的に学習に取り組む態度	0	
問題形式		選択式	9	73.0
		短答式	3	56.1
		記述式	3	45.9

＜学習指導要領の内容の平均正答率の状況＞



問題別集計結果

問題番号	問題の概要	出題の趣旨	学習指導要領の内容 知識及び技能 (1) 言葉の特徴や使い方に関する事項	知識及び技能 (2) 情報の扱い方に関する事項	知識及び技能 (3) 我が国の言語文化に関する事項	思考力、判断力、表現力等 A 話すこと・聞くこと	思考力、判断力、表現力等 B 書くこと	思考力、判断力、表現力等 C 読むこと	評価の観点 知識・技能	評価の観点 思考・判断・表現	評価の観点 主体的に学習に取り組む態度	問題形式 選択式	問題形式 短答式	問題形式 記述式	全国（国公私立） 正答率（%）	全国（国公私立） 無解答率（%）
１一	「可能の意味」を含んでいるものとして適切なものを選択する	助動詞の働きについて理解しているかどうかをみる	２オ						○			○			84.5	0.2
１二	「投げられる」を説明したものとして適切なものを選択する	単語の類別について理解しているかどうかをみる	１エ						○			○			70.3	0.3
１三	「ら抜き言葉」であるものを選択する	単語の活用について理解しているかどうかをみる	２オ						○			○			85.6	0.2
２一	発言について説明したものとして適切なものを選択する	目的や場面に応じて、集めた材料を整理し、伝え合う内容を検討することができるかどうかをみる				１ア				○		○			68.9	0.3
２二	話合いの中の発言について説明したものとして適切なものを選択する	必要に応じて質問しながら話の内容を捉えることができるかどうかをみる				１エ				○		○			70.7	0.3
２三	話合いを受けて整理したタブレット端末の画面を説明したものとして適切なものを選択する	情報と情報との関係の様々な表し方を理解し使うことができるかどうかをみる		２イ					○			○			70.7	0.4
２四	話合いを受けてどのような意見を述べるか、自分の考えを書く	互いの立場や考えを尊重しながら話し合い、結論を導くために考えをまとめることができるかどうかをみる				２オ				○				○	53.1	14.5
３一	文書作成ソフトに表示された意味と用例を参考にして、漢字を書き、漢字の組合せとして適切なものを選択する（とる）	文脈に即して正しく漢字を書き、語句を文章の中で使うことができるかどうかをみる	２ウエ						○				○		40.4	0.3
３二	気持ちがより伝わるように、表現を工夫して書く	表現の効果を考えて描写することができるかどうかをみる					２ウ			○			○		92.4	4.7
３三	文章の展開の意図を説明したものとして適切なものを選択する	段落相互の関係を明確にし、文章の展開を工夫することができるかどうかをみる					２イ			○		○			65.3	0.5
３四	書いた文章について、交流を基にして、「この文章のよい点や改善点」と「今後随筆を書くときに生かしたいこと」を書く	表現の工夫とその効果について、読み手からの助言を踏まえ、よい点や改善点を見いだすことができるかどうかをみる					２オ			○				○	45.4	10.5
４一	文章全体を三つに分けて整理したものとして適切なものを選択する	文章の中心的な部分と付加的な部分について叙述を基に捉えることができるかどうかをみる						１ア		○		○			71.9	0.7
４二	国語辞典を参考にして、「ほうふつとさせる」と同じような内容を表す別の表現を文章中から抜き出す	語句の辞書的な意味を踏まえ、文脈上の意味を捉えることができるかどうかをみる	１ウ						○				○		35.5	19.5
４三	文章中に書かれている、会話の表情を表す擬音語・擬態語の特徴をまとめたものとして適切なものを選択する	目的に応じて必要な情報に着目して要約し、内容を解釈することができるかどうかをみる						１ウ		○		○			69.0	1.0
４四	二つの例文を比べながら、擬態語「きっぱり」が表している具体的な様子と擬態語の効果を書く	文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを確かなものにすることができるかどうかをみる						１オ		○				○	39.3	18.3

問題別調査結果　［数学］
全国ー生徒（国・公・私立）

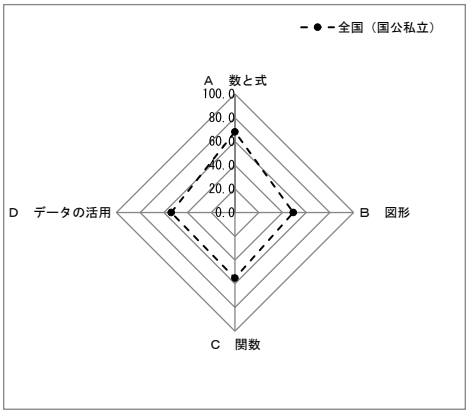
・以下の集計値／グラフは、４月２３日に実施した調査の結果を集計した値である。

集計結果

対象学校数	全国（国公私立）	対象生徒数	全国（国公私立）
	9,372		865,360

分類	区分	対象問題数（問）	平均正答率(%) 全国（国公私立）
全体		16	57.4
学習指導要領の領域	A　数と式	5	68.1
	B　図形	4	49.2
	C　関数	3	55.3
	D　データの活用	4	53.8
評価の観点	知識・技能	12	63.3
	思考・判断・表現	4	39.6
	主体的に学習に取り組む態度	0	
問題形式	選択式	3	59.6
	短答式	9	64.6
	記述式	4	39.6

＜学習指導要領の領域の平均正答率の状況＞



問題別集計結果

問題番号	問題の概要	出題の趣旨	学習指導要領の領域 A 数と式	B 図形	C 関数	D データの活用	評価の観点 知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	問題形式 選択式	短答式	記述式	全国（国公私立） 正答率（%）	無解答率（%）
1	２月３日のＡ市の最高気温が最低気温より何℃高くなったかを書く	具体的な場面において、正の数と負の数を用いて変化や状況を表すことができるかどうかをみる	1(1)ア(ウ)				○				○		85.9	0.6
2	７ｘ＋９－５ｘ＋７ｘ＾２＋２ｘ　から、７ｘの同類項をすべて書く	同類項の意味を理解しているかどうかをみる	2(1)ア(ア)				○				○		70.5	2.1
3	四角形ＰＱＲＳにおいて、ＰＳ平行ＱＲを示すための根拠となる二つの角を書く	２直線が平行になるための条件を理解しているかどうかをみる		2(1)ア(ア)			○				○		49.6	2.8
4	反比例の表において、ｘの値が－３のときのｙの値を求める	反比例の関係を表す表の特徴を捉えて、ｘの値に対応するｙの値を求めることができるかどうかをみる			1(1)ア(イ)		○				○		55.9	1.0
5	大小二つのさいころを同時に投げるとき、大きいさいころの目が６で小さいさいころの目が１である確率を求める	起こり得る場合を樹形図や二次元の表を利用するなどして整理し、確率を求めることができるかどうかをみる				2(2)ア(イ)	○				○		60.8	4.7
６（１）	選んだ２数が３と６のときについて、陸斗さんの予想が成り立つことを示す式を書く	問題場面における考察の対象を明確に捉えているかどうかをみる	2(1)ア(エ)				○				○		73.6	6.5
６（２）	陸斗さんの予想がいつでも成り立つことを説明するための方針を完成するために、当てはまるものを選ぶ	事柄が成り立つ理由を文字を使って説明するための方針を立てることができるかどうかをみる	2(1)ア(ウ)				○			○			65.2	0.6
６（３）	手順にしたがってできたＡとＢについて、Ａ－Ｂの値がどんな数になるかを、選んだ２数の差に着目して説明する	統合的・発展的に考え、事柄の特徴を数学的な表現を用いて説明することができるかどうかをみる	2(1)イ(イ)					○				○	45.2	26.1
７（１）	動画の時間とデータ量の関係を表すグラフにおいて、点Ｃの座標を書く	与えられた表やグラフから、必要な情報を適切に読み取ることができるかどうかをみる			1(1)ア(ウ)		○				○		75.5	5.5
７（２）	データ量が１０００ＭＢになるときの動画の時間がおよそ何秒になるかを求める方法を説明する	数学的に表現したことを事象に即して解釈し、問題解決の方法を数学的に説明することができるかどうかをみる			1(1)イ(イ)			○				○	34.5	39.0
８（１）	∠ＡＯＢの大きさがａ°のとき、∠ＰＯＢの大きさをａを用いた式で書く	具体的な事象において、考察の対象となる角を的確に捉えることができるかどうかをみる		1(1)ア(ア)			○				○		63.1	8.8
８（２）	図１において、ＡＢ＝ＡＰ、ＯＢ＝ＯＰならば∠ＡＯＢ＝∠ＡＯＰであることを、三角形の合同を基にして証明する	筋道を立てて考え、証明することができるかどうかをみる		2(2)イ(イ)				○				○	46.6	21.9
８（３）	図２において、証明する事柄における仮定となる辺や角の関係を選ぶ	具体的な事象を基に、証明する事柄の仮定を見いだすことができるかどうかをみる		2(2)ア(イ)			○			○			37.5	1.0
９（１）	全校生徒の睡眠時間の度数分布表において、最小の階級から６時間以上７時間未満の階級までの累積度数を求める	累積度数の意味を理解しているかどうかをみる				1(1)ア(ア)	○				○		46.3	14.0
９（２）	学年別の睡眠時間について、学年別睡眠時間の箱ひげ図から読み取れることとして正しいものを選ぶ	箱ひげ図と四分位数の対応について理解しているかどうかをみる				2(1)ア(ア)	○			○			75.9	0.7
９（３）	「就寝時刻が２３時より前の生徒と比べて、２３時以降の生徒の方が睡眠時間が短い傾向にある」と主張できる理由を、悠真さんが調べたことの二つの度数分布多角形の形と位置を比較して説明する	データの傾向を的確に捉え、判断の理由を度数分布多角形の特徴を基に説明することができるかどうかをみる				1(1)イ(ア)		○				○	32.2	28.5

公開問題別調査結果　［英語３技能］

全国ー生徒（国・公・私立）

・以下の集計値は、４月２０日から４月２４日に実施した調査の結果を集計した値である。

問題別集計結果（公開問題）

問題番号	問題の概要	出題の趣旨	学習指導要領の領域					評価の観点			問題形式			全国（国公私立）		問題の難易度	全国（国公私立）
			(1) 聞くこと	(2) 読むこと	(3) 話すこと［やり取り］	(4) 話すこと［発表］	(5) 書くこと	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	選択式	短答式／口述式	記述式／口述式	正答率（％）	無解答率（％）		対象生徒数
1	注文の場面での店員と客の会話を聞き、客が注文したものを選択する	音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの知識を、聞くことによる実際のコミュニケーションにおいて活用できる技能を身に付けているかどうかをみる	○※					○			○			60.6	0.2	4	861,464
2	ショッピングセンターでのアナウンスを聞き、行くべき階を選択する	日常的な話題について、目的に応じて、必要な情報を聞き取ることができるかどうかをみる	ア						○		○			78.7	0.1	3	295,144
3	学校見学についての説明を聞き、行くべき場所を選択する	日常的な話題について、自分の置かれた状況などから判断して、必要な情報を聞き取ることができるかどうかをみる	ア						○		○			76.3	0.1	3	283,126
4	職場体験についての発表を聞き、その後に示される3枚の絵を体験した順になるように選択する	日常的な話題について、話を聞き、概要を捉えることができるかどうかをみる	イ						○		○			44.4	0.3	4	283,194
5	住みやすいまちづくりについての発表を聞き、話し手が最も伝えたいことを選択する	社会的な話題について、話を聞き、要点を捉えることができるかどうかをみる	ウ						○		○			56.0	0.2	4	861,464
6	文章を読み、グラフの空所に入る学校行事を選択する	音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの知識を、読むことによる実際のコミュニケーションにおいて活用できる技能を身に付けているかどうかをみる		○※				○			○			67.7	1.1	3	861,464
7	誕生日パーティーに関するメールを読み、最も適切な時刻を選択する	日常的な話題について、目的に応じて、必要な情報を読み取ることができるかどうかをみる		ア					○		○			72.8	0.1	3	295,754
8	友達からのメッセージを読み、相手が示した条件に合うウェブサイトを選択する	日常的な話題について、自分の置かれた状況などから判断して、必要な情報を読み取ることができるかどうかをみる		ア					○		○			64.2	0.1	3	282,886
9	物語を読み、物語全体を通した登場人物の気持ちの変化を表したものを選択する	日常的な話題について、短い文章を読み、概要を捉えることができるかどうかをみる		イ					○		○			49.2	0.1	5	282,824
10（1）	インターネットの使用に関する文章を読み、書き手が最も伝えたいことを選択する	社会的な話題について、短い文章を読み、要点を捉え、考えとその理由を書くことができるかどうかをみる		ウ					○		○			48.1	0.2	4	861,464
10（2）	インターネットの使用に関して読んだことについて、考えとその理由を書く	社会的な話題について、短い文章を読み、要点を捉え、考えとその理由を書くことができるかどうかをみる					ウ		○				○	28.4	14.4	5	861,464
11①	与えられた情報に基づいて、留学生の昨日の出来事を説明する英文を書く	音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの知識を、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて活用できる技能を身に付けているかどうかをみる					ア	○				○		59.4	2.5	3	861,464
11②	与えられた情報に基づいて、留学生の昨日の出来事を説明する英文を書く	音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの知識を、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて活用できる技能を身に付けているかどうかをみる					ア	○				○		53.3	2.9	3	861,464
12	中学生になってからの思い出を1つ取り上げ、そこで体験したことと感想を書く	日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、まとまりのある文章を書くことができるかどうかをみる					イ		○				○	48.0	8.6	4	295,673
13	留学生との交流会で一緒にしたいことを１つ取り上げ、その理由を書く	日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、まとまりのある文章を書くことができるかどうかをみる					イ		○				○	44.7	9.2	4	282,886
14	学校で普段行うことを1つ取り上げ、それについての説明を書く	日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、まとまりのある文章を書くことができるかどうかをみる					イ		○				○	28.5	14.0	4	282,905

※「学習指導要領の領域」における「○」は、五つの領域別の目標に分類されない「知識及び技能」を示している。

公開問題別調査結果　［英語「話すこと」］

全国ー生徒（国・公・私立）

・以下の集計値は、４月２４日から４月２７日に実施した調査の結果を集計した値である。

問題別集計結果（公開問題）

問題番号	問題の概要	出題の趣旨	学習指導要領の領域					評価の観点			問題形式			全国（国公私立）		問題の難易度	全国（国公私立）
			(1) 聞くこと	(2) 読むこと	(3) 話すこと［やり取り］	(4) 話すこと［発表］	(5) 書くこと	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	選択式	短答式／口述式	記述式／口述式	正答率（%）	無解答率（%）		対象生徒数
１５（１）	電話でのやり取りの中で、遊ぶ約束をしている留学生に明日の天気を伝える	音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの知識を、話すことによる実際のコミュニケーションにおいて活用できる技能を身に付けているかどうかをみる			○※			○				○		42.3	9.2	5	46,096
１５（２）ａ	電話でのやり取りの中で、遊ぶ約束をしている留学生からの質問を聞き、明日しようと思っていることを伝える	音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの知識を、話すことによる実際のコミュニケーションにおいて活用できる技能を身に付けているかどうかをみる			○※			○				○		33.5	12.0	4	25,779
１５（２）ｂ	電話でのやり取りの中で、遊ぶ約束をしている留学生に自分の家に来てもらうように依頼する	音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの知識を、話すことによる実際のコミュニケーションにおいて活用できる技能を身に付けているかどうかをみる			○※			○				○		32.1	13.4	4	20,317
１６	留学生と一緒にしたいことを１つ取り上げ、その理由を話す	日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、まとまりのある内容を話すことができるかどうかをみる				イ			○				○	53.5	11.3	4	15,252
１７	自分の好きな人物を1人取り上げ、好きな理由を話す	日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、まとまりのある内容を話すことができるかどうかをみる				イ			○				○	48.0	12.1	4	15,577
１８	自分のまちを訪れるのにおすすめの季節を１つ取り上げ、その理由を話す	日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、まとまりのある内容を話すことができるかどうかをみる				イ			○				○	21.5	13.5	5	15,267
１９	学校生活をよりよくする方法に関して聞いたことについて、考えとその理由を話す	社会的な話題に関して聞いたことについて、考えとその理由を話すことができるかどうかをみる				ウ			○				○	25.8	17.0	5	46,096

※「学習指導要領の領域」における「○」は、五つの領域別の目標に分類されない「知識及び技能」を示している。